

# 2015年度 第2四半期(上期)決算



株式会社フジクラ

2015年10月29日

**取締役社長 長浜洋一**

**I . 15中期の最終年度**

**事業戦略ゴール達成に向けて**

**取締役常務執行役員 志波英男**

**II . 決算概要説明**

# I . 15中期最終年度 事業戦略ゴール達成に向けて

1. 15年度上期の振り返り
2. 足元の環境
3. 15年度通期予想
4. 15年度重点施策の進捗
5. 15中期計画と15年度予想
6. 最後に:20中期に向けた下期の取組み

# 1. 15年度上期の振返り

(単位:億円)	当初予想	実績	増減
売上高	3,300	3,452	+152
営業利益	130	170	+40
営業利益率	3.9%	4.9%	+1.0
経常利益	100	142	+42
親会社株主に帰属する 当期純利益	60	85	+25
1株当り当期純利益(円)	19.41	27.77	+8.36

## 当初予想比で増収増益

- ・光事業は1Q光ファイバ・光部品・光融着接続機好調
- ・エレクトロニクスはFPCが1Qに続き2Qも好調持続
- ・自動車電装は中国市場で苦戦

## 2. 足元の環境

---

- 世界的なFTTH市場の拡大、光ファイバ需要旺盛継続
- スマートフォン向FPC・コネクタは4Qの動向(季節変動)を要注視
- 中国経済の減速は自動車・スマートフォン関連・産業機器向け等に影響、先行き不透明
- 自動車は米国・欧州堅調だが、排ガス規制不正問題の影響を懸念

### 3. 2015年度通期予想

(単位:億円)	当初予想	2015年度 予想	増減
売上高	6,800	6,900	+100
営業利益	300	320	+20
営業利益率	4.4%	4.6%	+0.2
経常利益	250	250	±0
親会社株主に帰属する 当期純利益	150	150	±0
1株当り当期純利益(円)	48.52	48.72	+0.2

- ・上期の実績を踏まえ、営業利益は上方修正
- ・経常利益・当期純利益は営業外費用の増加を見込み据え置く

## 4. 15年度重点施策の進捗

項目	主な内容
1.グローバル展開の加速	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ インフラ系重点拠点 ブラジル 4月～OPGW・ACSR生産開始 ミャンマー Barons社と合併設立し、4月～営業開始</li></ul>
2.収益力の更なる向上	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 主要顧客の成長に追従 エレクトロニクス FPC中心に受注拡大 光事業 海外FTTx・データセンタビジネス拡大</li></ul>
3.新規事業の事業化推進	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ ファイバレーザ パルスファイバレーザ好調 高出力ファイバレーザ顧客拡大に注力</li><li>➤ ActiveOpticalCable 拡大する市場に参入</li></ul>
4.構造改革	<ul style="list-style-type: none"><li>➤ 国内インフラ事業構造改革の継続推進</li></ul>

## 5. 15中期計画と15年度業績予想

社内カンパニー名 (単位: 億円, %)	15中期計画		2015年度予想	
	売上高	営業利益率	売上高	営業利益率
インフラ事業	1,900		2,226	
光事業	1,450		1,514	
エネルギー・情報通信	3,350	5.4%	3,740	4.0%
エレクトロニクス ※1	1,450	6.0%	1,583	6.7%
自動車電装	1,100	5.5%	1,392	2.7%
不動産	100	50.0%	106	48.7%
その他	40	-25.0%	-	-
新規事業の事業化推進	-	-	78	-34.2%
<b>全社合計</b>	<b>6,500</b>	<b>6.3%</b>	<b>6,900</b>	<b>4.6%</b>

※1 タイ洪水被災を受けてエレクトロニクスのみ中期計画を見直した。当初計画 1,900億 6.8%

15中期に含めていなかった新規事業を除くと	6,823	5.2%
-----------------------	-------	------

**15中期最終年度 営業利益率 8割達成 見込**



## 6. 最後に: 20中期に向けた下期の取組み

15中期で営業利益率8割達成を見込むも課題あり。

エレクトロニクスは復活の道筋ついた。  
今後の受注拡大に向け布石を打つ必要あり。

インフラは事業構造改革を今年度中に仕上げる。  
海外での事業基盤確立し成長に繋げる。

光は海外FTTx・データセンタ市場拡大に追従する。

自動車電装は排ガス規制不正問題を注視しつつ顧客基盤の  
拡大を進める。



更なる収益基盤確立し持続的な成長へ繋げる戦略を  
盛り込んだ次期5ヶ年中期計画(20中期)を策定し、  
2016年5月に公表する予定。

# Ⅱ．決算概要説明

## 目次

1. 2015年度上期決算概要及び年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

# 1. 2015年度上期決算概要及び年度予想

# 2015年度上期決算概要及び年度予想

(単位: 億円)

	2014年度			2015年度			2015年度 (公表値5.8)	
	上期	下期	年度	上期	下期 予想	年度 予想	上期	年度
売上高	3,128	3,487	6,615	3,452	3,448	6,900	3,300	6,800
営業利益	106	144	250	170	150	320	130	300
営業利益率 (%)	3.4	4.1	3.8	4.9	4.4	4.6	3.9	4.4
持分法投資損益	▲0	▲2	▲3	▲2	1	▲1	2	9
経常利益	96	114	210	142	108	250	100	250
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	68	122	85	65	150	60	150
1株当たり当期純利益 (円)	16.87	21.06	37.93	27.77	20.95	48.72	19.41	48.52
1株当たり配当 (円)	3.50	3.50	7.00	4.00	4.00	8.00	4.00	8.00
為替換算レート (JPY/ USD)	103.01	116.82	109.76	121.88	115.00	—	115.00	115.00
銅ベース (千円/トン)	757	750	766	741	700	—	700	700

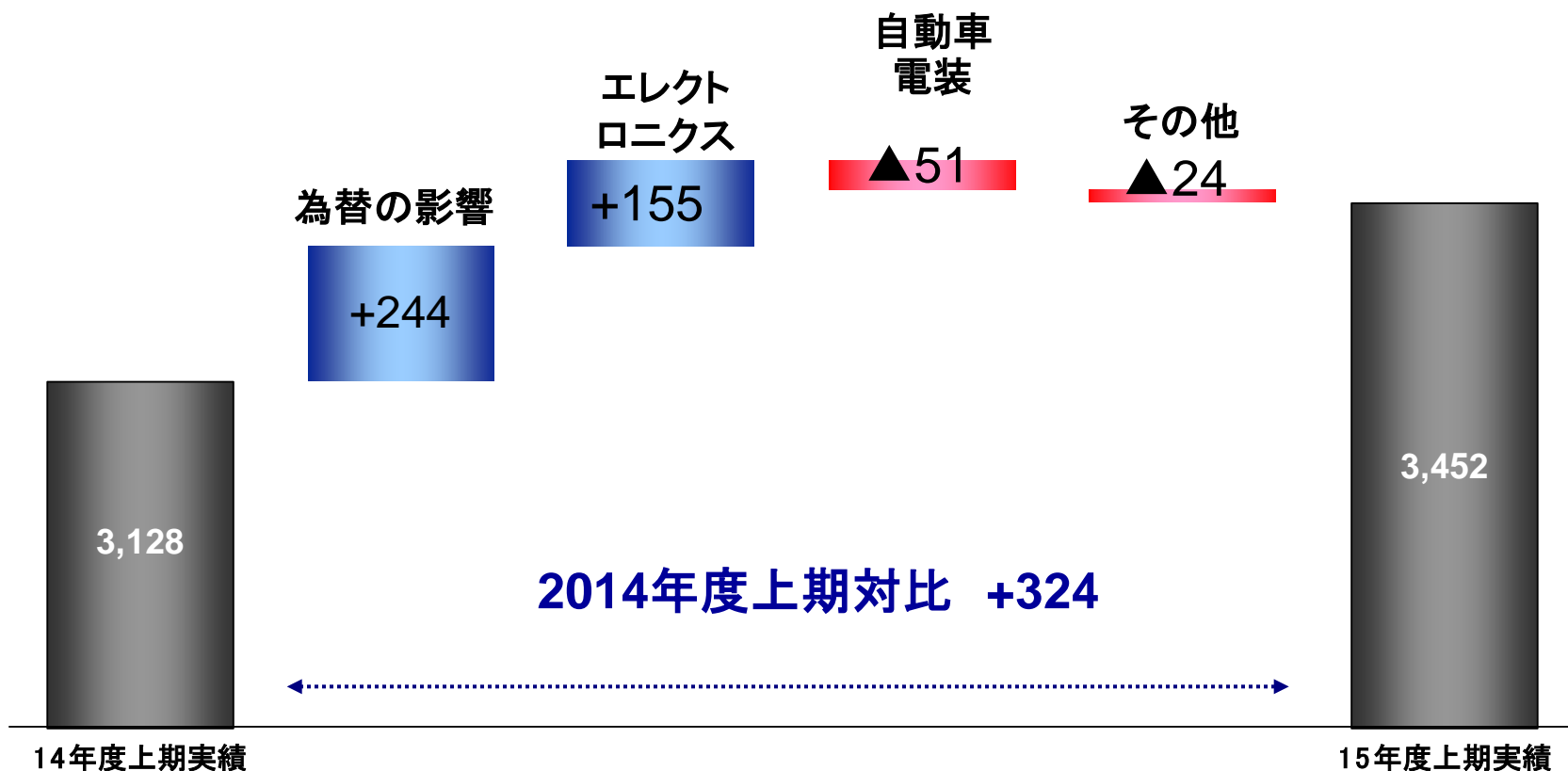
# 2015年度上期決算概要及び年度予想

- 売上高は、円安の影響及びエレクトロニクスの増収により前年同期比増収。
- 営業利益、経常利益、当期純利益は、円安の影響及びエレクトロニクスの増収等により、前年同期比増益となった。
- 通期の予想は、上期の実績を踏まえ、営業利益は上方修正するが、営業外費用の増加を見込み、経常利益、当期利益は据え置きとする。

# 2015年度上期 売上高の増減要因(前年同期比)

## 売上高

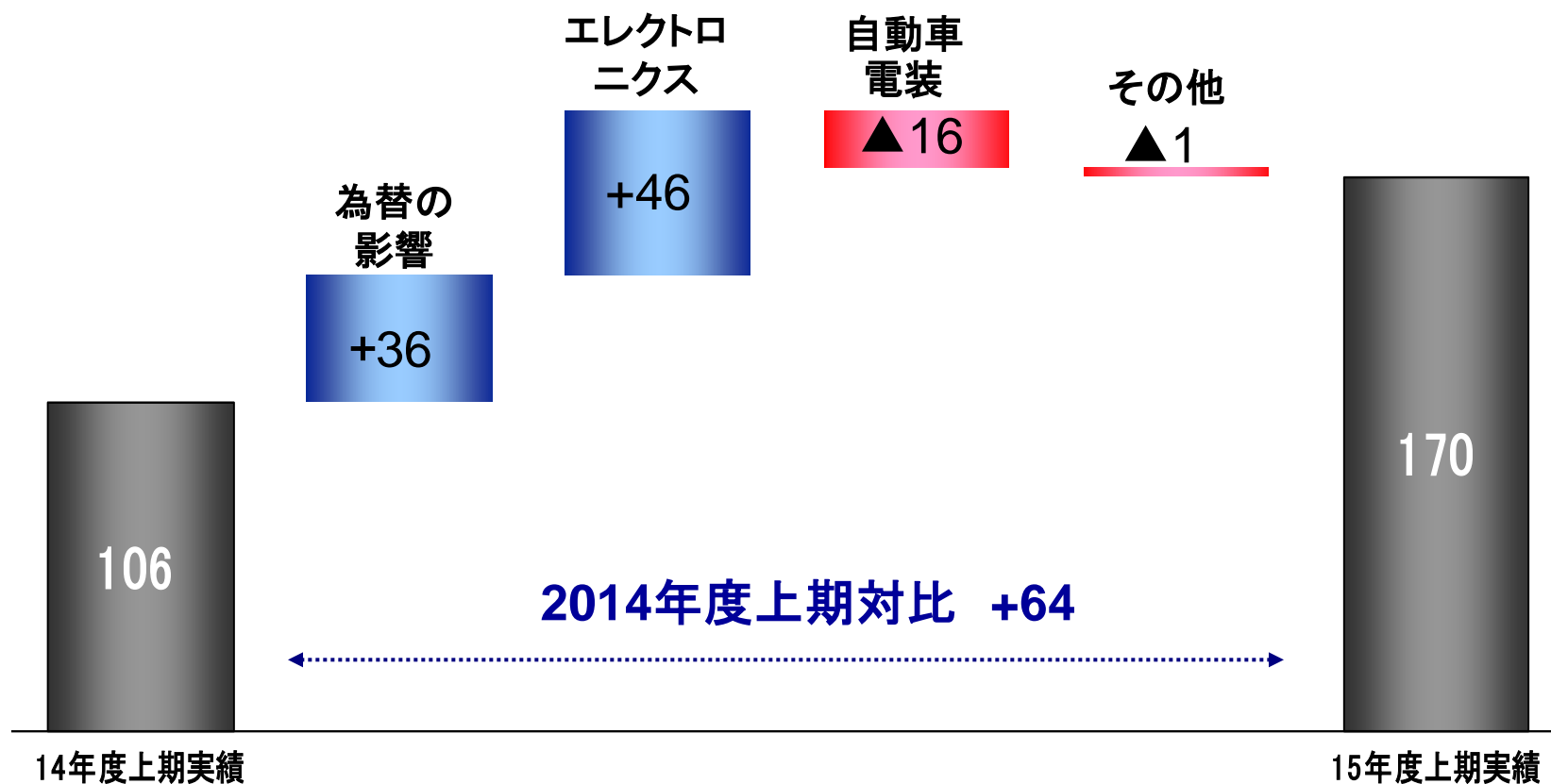
(単位:億円)



# 2015年度上期 営業利益の増減要因(前年同期比)

## 営業利益

(単位:億円)



# 2015年度上期 特別損益及び税金項目

## 特別損益

(単位:億円)

	2014年度			2015年度 上期
	上期	下期	年度	
営業利益	106	144	250	170
持分法投資損益	▲0	▲2	▲3	▲2
経常利益	96	114	210	142
特別利益	1	21	22	5
特別損失	3	27	30	15
税引前当期利益	94	107	202	133
税金費用	39	30	69	42
非支配株主に帰属 する当期純利益	0	11	11	5
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	67	122	85



# B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	15年3月末	15年9月末	増減	
〈資産〉	5,775	5,765	▲10	為替換算の影響▲97億円 15/3末1パーツ3.69円 15/9末1パーツ3.30円
流動資産	2,946	3,029	82	
現金及び預金	357	328	▲28	
受取手形及び 売掛金	1,570	1,632	62	エレクトロニクスカンパニー の売上増、季節的要因による
たな卸資産	785	844	59	
固定資産	2,828	2,735	▲93	
有形固定資産	1,859	1,793	▲65	主に為替換算の影響による 設備投資 +132億円 減価償却費 ▲133億円
無形固定資産	144	135	▲9	
小計	2,003	1,928	▲75	
投資その他の資産	825	807	▲17	投資有価証券 時価評価▲11億円

## B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	15年3月末	15年9月末	増減
負債純資産合計	5,775	5,765	▲10
(内数 自己株式)	(▲197)	(▲222)	(▲24)
〈負債〉	3,430	3,451	20
支払手形及び買掛金	786	847	60
有利子負債	2,051	1,972	▲78
その他流動負債	370	411	40
〈純資産〉	2,345	2,314	▲30
株主資本	1,878	1,929	50
(内数 自己株式)	(▲197)	(▲222)	(▲24)
その他の包括利益 累計額	306	229	▲77
非支配株主持分	159	156	▲3

営業キャッシュフロー  
により、返済

為替換算調整勘定の減少▲74億円  
その他有価証券評価差額金▲7億円

## 2. セグメント情報

# セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

売上高					営業利益及び営業利益率			
セグメント	14年度 上期実績	15年度 上期実績	増減	15年度 下期予想	14年度 上期実績	15年度 上期実績	増減	15年度 下期予想
エネルギー・ 情報通信カンパニー	1,761	1,846	85	1,894	57	84	27	66
					3.3%	4.6%	1.3%	3.5%
エレクトロニクス カンパニー	622	848	226	735	15	69	54	37
					2.5%	8.2%	5.7%	5.1%
自動車電装 カンパニー	667	672	5	720	18	5	▲13	33
					2.7%	0.8%	▲1.9%	4.6%
不動産 カンパニー	54	54	0	52	27	27	0	25
					49.4%	51.7%	2.2%	47.4%
その他	23	31	8	47	▲11	▲16	▲5	▲11
合計	3,128	3,452	324	3,448	106	170	64	150
					3.4%	4.9%	1.5%	4.4%

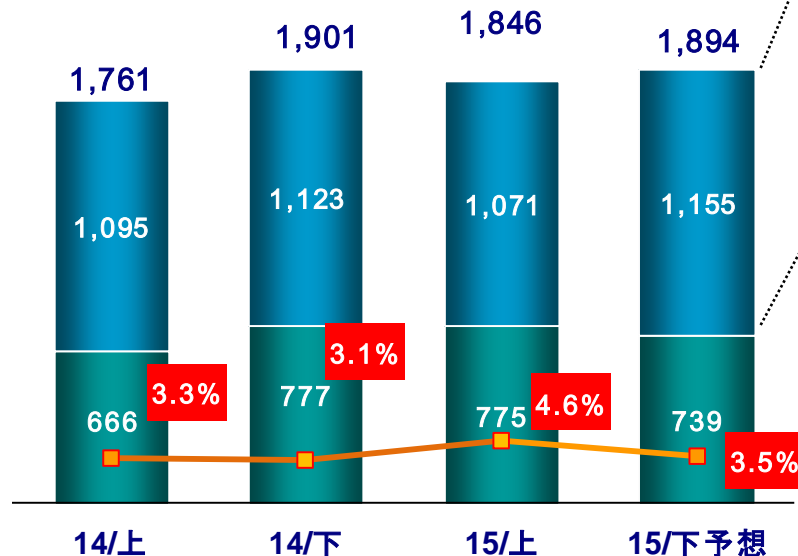
# エネルギー・情報通信カンパニー

- 15/上期は、光事業部門が為替の影響や光ファイバ・光部品・光融着接続機等の売上が好調であったことにより増収増益。
- 15/下期は、インフラ事業部門は、季節的な要因で増収となるが、光事業部門は競争激化や品種構成等により減収となる見込み、全体では増収減益となる見込み。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- インフラ事業部門
- 光事業部門
- 営業利益率



### インフラ事業部門

- 15/上期は、前年同期比で横ばい。
- 15/下期は、国内の建設電販の季節的な要因もあり増収を見込む。

### 光事業部門

- 15/上期は、為替の影響があり増収。
- 15/下期は、競争激化や品種構成等により減収を見込む。

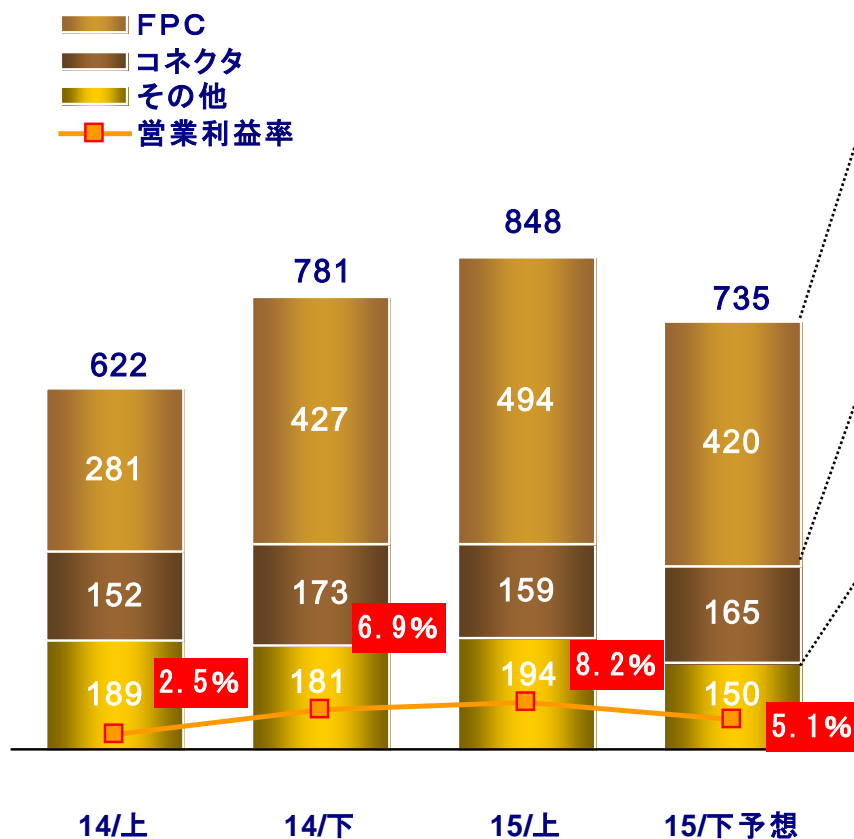
コメント 上段: 上期実績、前年同期比  
下段: 下期予想

# エレクトロニクスカンパニー

- 15/上期は、FPCを中心に大幅な増収増益。
- 15/下期は、4Qの季節的な需要減により上期実績対比で減収減益となる見込み。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率



### FPC

- 15/上期は、スマートフォン向け等の需要が増加し、前年同期比で増収。
- 15/下期は、4Qの季節的な需要減により、上期実績対比で減収を見込む。

### コネクタ

- 15/上期は、前年同期比で横ばい。
- 15/下期は、上期同様に推移する見込み。

### その他

- 15/上期は、前年同期比で横ばい。
- 15/下期は、上期の一過性の要因がなくなることやHDDはパソコンマーケットの縮小により、上期実績対比で減収となる見込み。

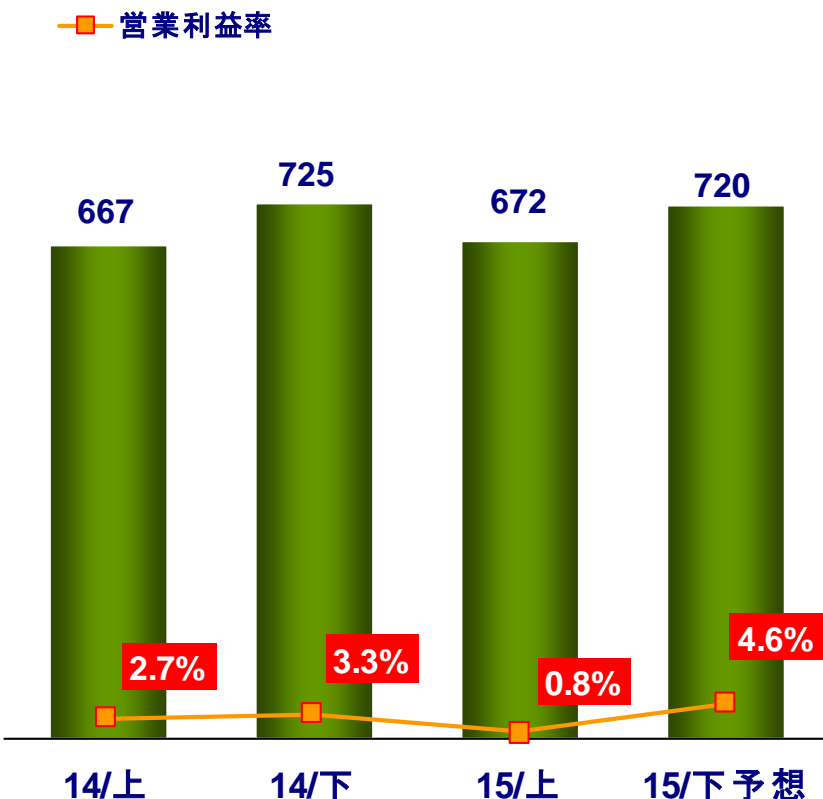
コメント 上段: 上期実績、前年同期比  
下段: 下期予想

# 自動車電装カンパニー

- 15/上期は、為替の影響を除くと、中国顧客の減産の影響により、減収減益。
- 15/下期は、欧州地区の新車種の立ち上げ及びアジア地区の費用削減により増収増益となる。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率



## 自動車関連

- 15/上期は、中国顧客の生産計画下方修正による減収や国内顧客向けで円安による海外生産コスト上昇が影響し、減益となった。
- 15/下期は、欧州地区の新モデルの立ち上げ効果及びアジア地区を中心とした費用削減により、増収増益となる。

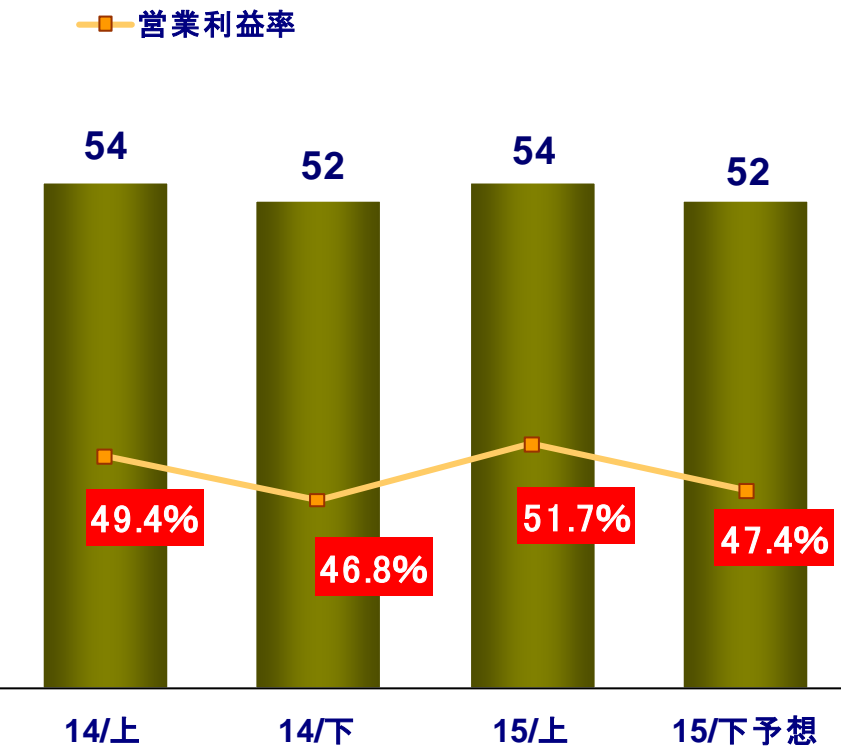
コメント 上段: 上期実績 前年同期比  
下段: 下期予想

# 不動産カンパニー

## ■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献

(単位: 億円)

### 売上高と営業利益率



### 不動産

■ 引き続き安定的な賃貸収入を見込む。



# 設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2014年度			2015年度 上期	2015年度 予想 (5.8)
	上期	下期	年度		
設備投資	122	124	246	132	290
(内製造事業)	121	123	244	131	284
(内不動産事業)	1	0	1	0	6
減価償却費	128	154	282	133	290
(内製造事業)	119	143	262	124	273
(内不動産事業)	9	10	19	6	17

※リース含む

# 有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2014年度			2015年度
	上期	下期	年度	上期
有利子負債	1,983	2,051	2,051	1,972
金融収支	△8	△8	△16	△8
フリーキャッシュフロー	△110	86	△24	76

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

### 3. 株主還元

# 利益還元

■基本方針 総還元性向 30%以上

■ 2015年度予想

◆ 配当8.0円/株(中間4.0円/株、期末4.0円/株、24億円)

14年度実績 7.0円/株(中間3.5円/株、期末3.5円/株)

(14年度対比1.0円増配)

◆ 自己株式の取得 3.8百万株/24億円

配当性向 16.3%

総還元性向 32.5%



注記:本資料は15年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。15年度を含む先の年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投入に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2015年度 第2四半期 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位:億円

	2014年度							2015年度					2015年度 公表値(5.8)
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q実績	2Q実績	上期実績	下期予想	年度予想	上期予想
インフラ事業部門	529	566	586	537	1,095	1,123	2,218	528	543	1,071	1,155	2,226	1,033
光事業部門	330	336	377	400	666	777	1,443	391	384	775	739	1,514	742
エネルギー・情報通信 カンパニー	858	904	964	937	1,761	1,901	3,662	919	927	1,846	1,894	3,740	1,775
FPC	108	173	232	195	281	427	708	199	295	494	420	914	406
コネクタ	71	81	98	75	152	173	325	78	81	159	165	324	158
その他	100	89	90	91	189	181	370	98	96	194	150	344	179
エレクトロニクスカンパニー	279	343	420	360	622	781	1,404	376	472	848	735	1,583	744
自動車電装カンパニー	346	321	369	355	667	725	1,392	344	328	672	720	1,392	694
不動産カンパニー	26	28	26	26	54	52	106	27	27	54	52	106	54
その他	10	12	10	15	23	25	48	16	15	31	47	78	33
合計	1,521	1,607	1,791	1,696	3,128	3,487	6,615	1,684	1,768	3,452	3,448	6,900	3,300

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信 カンパニー	33	24	33	27	57	60	117	44	40	84	66	150	63
エレクトロニクスカンパニー	0	14	34	19	15	54	69	21	48	69	37	106	33
自動車電装カンパニー	15	3	19	4	18	24	42	7	△ 2	5	33	38	23
不動産カンパニー	13	13	12	12	27	24	51	13	14	27	25	52	27
その他	△ 5	△ 6	△ 9	△ 10	△ 11	△ 19	△ 30	△ 8	△ 8	△ 16	△ 11	△ 27	△ 17
合計	57	49	90	54	106	144	250	78	92	170	150	320	130

株式会社フジクラ